

宇部市立中学校の新たなスポーツ・文化活動体制整備協議会 概要

1 日 時 令和8年3月13日（金） 15:00～17:00

2 場 所 宇部市本庁舎 3階 会議室

3 概 要

会長（司会）

- ・国の新たなガイドラインでは令和8年度から13年度までの6年間を改革実行期間としているが、全国の自治体の多くは暗中模索の状態にある。
- ・宇部市は、これまでの手上げ方式を継続しつつも、市が中心となって強力に進め、令和11年度末には学校部活動を廃止するという方向性の結論を得たい。

○部活動地域展開の今後の方向性について

宇部市観光スポーツ文化部 部活動地域展開室

(1)趣旨・理念

「子どもファーストで創る、新たな放課後活動」を副題とし、単なる部活動の地域へのスライドではなく、多様な体験機会と選択肢を将来にわたり保障する「新たな放課後活動」の創造を目指す。

(2)内容

- ・**運営体制**：地域の多様な主体が自律的に運営する「民設民営」を基本原則とし、民間がカバーできない領域を「公設民営」で補完、市が直接運営する「公設公営」を最終的な受け皿（セーフティネット）として位置づける。
- ・**活動環境**：ブロック制や広域一括管理を導入し、既存の部活動数を適正規模（半数程度目安）に集約・再編した上で地域展開を進める。
- ・**支援・配慮**：認定地域クラブへの補助金や学校施設の優先利用を継続するほか、受益者負担を基本としつつ、送迎負担の軽減や経済的事情にも配慮する。
- ・**安全確保**：いじめやハラスメントを未然に防ぐため、指導員への研修徹底や、市・教育委員会・学校が連携した相談体制を構築する。

(3)議論

委員

放課後活動の意義の中に、言葉以外のコミュニケーション能力である「ノンバーバルコミュニケーション（非言語能力）の醸成」という文言を入れてほしい。

事務局

文言の追加について検討する。

委員

吹奏楽部などの大所帯の文化部において、活動場所や指導者の確保は大きな課題であるため、文化創造財団等との連携を早めに具体化してほしい。

事務局

令和8年度に具体的な道筋を立てていく中で、専門団体との連携を含め整理していく。

事務局

市の方針が明確になったことで、硬式テニスの地域クラブ設立に向けた動きや、柔道、バドミントン、囲碁などの問い合わせも出始めている。

結果

細部の修正を事務局に一任した上で、基本方針案は承認された。

○部活動終了ロードマップ案について

宇部市教育委員会 学校教育課

(1)目的

地域クラブ活動と学校部活動のギャップを小さくし、令和12年度からの完全移行に向けて円滑に地域展開できるよう、段階的な部活動の縮小・廃止の方向性を示す。

(2)内容

- ・令和8年度（周知）：宇部市の方針を周知し、エリア別合同部活動を推進する。
- ・令和9年度（縮小）：休日の部活動を原則廃止（大会、練習試合、合同部活動等は実施可）する。
- ・令和10年度（統廃合）：平日の活動を週3日（月・水・金）に縮小し、水曜日の平日合同部活動を実施する。また、大会前の延長練習を原則中止する。
- ・令和11年度（廃止）：3年生の引退をもって部活動を終了し、令和12年3月末で部活動を廃止する。なお、受け皿がない場合を想定し、新1年生の入部は可能とする。

(3)議論

委員

休日部活動の廃止や大会前延長練習の中止は、生徒や指導者のモチベーションに関わるため、令和11年度まではもう少し柔軟な対応ができないか。

事務局

令和12年度に確実に移行するためには、部活動を収束させる方向性が必要だが、硬直化した

状況があれば状況を見直すなどの柔軟性は持ちたい。

委員

令和12年度に中体連への助成金が廃止されるが、全生徒を対象とする中文連の会費（助成金）については性質が異なるため、今後検討してほしい。

事務局

中文連の会費については状況を把握し、検討していく。

結果

原則としてこの方向性で進めるが、詳細や課題については今後も校長会等と協議を継続することで承認された。

○まとめと今後の方向性

会長

- ・スポーツが先行しているが、文化についても仕組みや組織があれば協力したいという声はある。
- ・「子どもファースト」を共通理解とし、どの子供もやりたい活動に所属して楽しく活動できる環境を目指し、課題を解決していきたい。

事務局

来年度以降も必要に応じて協議会を開催し、課題の共有や協議を行っていく。